TOTO

温水洗浄便座　重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。
- 酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。
- 電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング現象で火災の原因になります。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

温水洗浄便座協議会　http://www.sanitary-net.com　0120-39-7718 受付時間 平日09:00～17:00　後援 経済産業省

商品のお問い合わせはTOTO(株)お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)
インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/

修理のご用命は
TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターへ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受　付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9:00～18:00

補修用部品のご購入は
TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

TOTO株式会社　インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/

2009.2.25
D06588

TOTO

取扱説明書

施工説明書付

定期点検情報掲載

ウォシュレット® K1・K2・K3

TCF303，TCF313，TCF323

WASHLET®

■このたびは、TOTOウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■定期的に交換が必要な部品があります。
詳しくは42ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。

1 安全上のご注意

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

安全のために必ずお守りください

●表示と意味は次のようになっています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
分解禁止	⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
必ず守る	❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

⚠警告

逆流防止装置（バキュームブレーカー・Oリング）は水の安全を確保するために定期的な点検を行う

必ず守る

●逆流防止装置（バキュームブレーカー・Oリング）が正常に機能しないと、状況によっては、一度吐水した水が逆流する原因になります。

☞定期点検情報は42ページ

低温やけどに注意する

●ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
●次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」、乾燥の温度調節を「低」にしてください。

必ず守る

●お子様，お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
●病気の方，身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
●眠気を誘う薬（睡眠薬，かぜ薬など）を服用された方，深酒をされた方，疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方

故障したままでウォシュレットを使いつづけない

●次のようなときは、漏電保護プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

禁止

故障とは…
配管や本体から水漏れしている
異音，異臭がしている
製品が異常に熱い
製品にひびや割れが入っている
製品から煙がでている

●故障したまま使いつづけると、火災や感電，室内浸水の原因になります。

☞アフターサービスについては42ページ

浴室など湿気の多い場所には設置しない

●火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

⚠警告

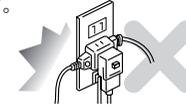
アース（D種接地）工事がされていることを確認する

●アース工事がされていないと故障や漏電のとき感電する原因になります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

アース接続

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、漏電保護プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

ぬれ手禁止

漏電保護プラグのコード・漏電保護プラグや便座コードを破損するようなことはしない

傷つけない、加工しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、挟み込まない、加熱しない

●傷んだまま使用すると火災，感電，ショートの原因になります。

禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

●火災や感電の原因になります。

分解禁止

漏電保護プラグに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

●火災や感電の原因になります。
●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ず守る

ガタついているコンセントは使わない

●火災や感電の原因になります。

禁止

本体や漏電保護プラグに水や洗剤をかけない

●火災や感電の原因になります。

水かけ禁止

水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない

●皮膚の炎症などを起こす原因になります。

禁止

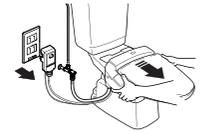
車輌・船舶など、移動体への設置はしない

●火災や感電、故障などの原因になります。
●ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

禁止

本体を取りはずしてお手入れをするときは、漏電保護プラグを抜く

●感電の原因になります。

プラグ抜き励行

漏電保護プラグを抜くときは、必ず漏電保護プラグ本体を持って引き抜く

必ず守る

●コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

⚠注意

たばこなどの火気類を近づけない

火気禁止

- 火災の原因になります。

製品を破損するようなことはしない

強い力や衝撃を与えない、便座･便ふたや本体の上に乗らない、重いものを載せない

- 割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

温風吹出口に指やものを入れない

吹出口に手を置かない、衣服をかぶせない

- やけど，感電，焼損の原因になります。

長期間使用しないときは水を抜き、漏電保護プラグを抜く

必ず守る

- 水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。

☞水抜きのしかたは39ページ

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない

- 水が噴き出します。

☞給水フィルター付水抜栓のお手入れは36ページ

給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

必ず守る

- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。

お手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

［トイレ用洗剤，住宅用洗剤，ベンジン，シンナー及びクレンザー，ナイロンたわしなど］

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 連結ホースを傷め、水漏れの原因になります。

便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

- 本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

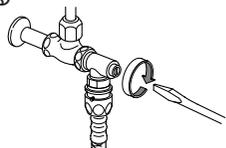
凍結による破損の予防を行うこと

- 凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。

必ず守る

☞凍結による破損の予防は38ページ

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

必ず守る

2 使用上のご注意

次のことをお守りください。

本体，便座，便ふたは乾いた布やトイレットペーパーなどでふかない

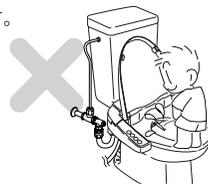
- 傷つきの原因になります。

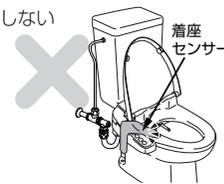
☞お手入れのしかたは33ページ

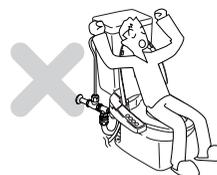
直射日光が当たらないようにする

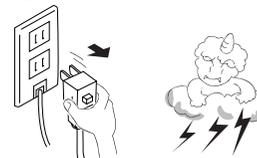
- 変色や暖房便座の温度ムラが生じる原因になります。

本体やノズルに小便がかからないようにする

- 故障の原因になります。

操作部側面の着座センサーをおおわない

- 着座センサーが作動しない原因になります。

便ふたに寄りかからない

- 便ふたが傷つく原因になります。

雷が発生しているときは、漏電保護プラグを抜く

- 故障の原因になります。

ラジオなどはウォシュレットから離して使う

- ラジオに雑音が入ることがあります。

ウォシュレットの機能を紹介します。いろいろな機能をおためしください。

アドバイス 1

製品名称，製品品番は便ふたの裏に記入しています。

洗浄機能		K1	K2	K3	参照ページ
おしり洗浄	● おしりを洗います。	○	○	○	24
ビデ洗浄	● 女性のビデとして使えます。	○	○	○	24
水勢調節	● 水勢の強弱を調節できます。	○	○	○	24
ムーブ洗浄	● ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	○	○	○	25

快適機能		K1	K2	K3	参照ページ
暖房便座	● 便座をあたためます。	○	○	○	26
温風乾燥	● ぬれた部分を乾かします。	–	–	○	25
温度調節	● 温水，便座，乾燥の温度を調節できます。	○	○	○	26，27
脱臭	● 便器内のにおいをとります。	–	○	○	28
パワー脱臭	● 吸い込む力をアップさせて便器内のにおいをとります。	–	○	○	29
オートパワー脱臭	● 便座から立ち上がると自動的にパワー脱臭を行います。	–	○	○	29
ソフト閉止	● 便座・便ふたがゆっくり閉まります。	○	○	○	–
着座センサー	● 便座に座ると各機能がはたらきます。	○	○	○	24

節電機能		K1	K2	K3	参照ページ
タイマー節電	● 一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。（節電時間は、3･6･9時間のいずれかに設定できます。）	○	○	○	30，32
おまかせ節電	● トイレをあまり使用しない時間帯を記憶して、自動的に便座の温度を下げて節電します。	○	○	○	31，32
運転入/切スイッチ	● このスイッチを「切」にすることで洗浄や暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	○	○	○	22

清潔機能		K1	K2	K3	参照ページ
便座・便ふた着脱	● 便座・便ふたが簡単に取りはずせます。お掃除も簡単です。	○	○	○	34
本体ワンタッチ着脱	● 本体がワンタッチではずせます。便器の奥まで簡単にお掃除できます。	○	○	○	35
抗菌	● 便座，スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	○	○	○	9，43
セルフクリーニング	● 洗浄の前後に、ノズル先端部を自動的にしっかり洗います。	○	○	○	–
ノズルまるごと洗浄	● ノズルが伸出・収納するときにノズル本体をしっかり洗います。	○	○	○	–
ノズルそうじスイッチ	● ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除もラクにできます。	○	○	○	37

上手な節電のしかた

◎ 上手に節電して、地球環境を保護しましょう。

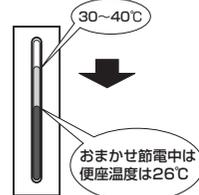
1 タイマー節電を使いましょう

一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。

☞ 30ページ

2 おまかせ節電を使いましょう

トイレをあまり使わない時間帯を見つけ、自動的に便座の温度を下げて節電します。

☞ 31ページ

3 温度調節を低めにしましょう

寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。

4 便ふたを閉めましょう

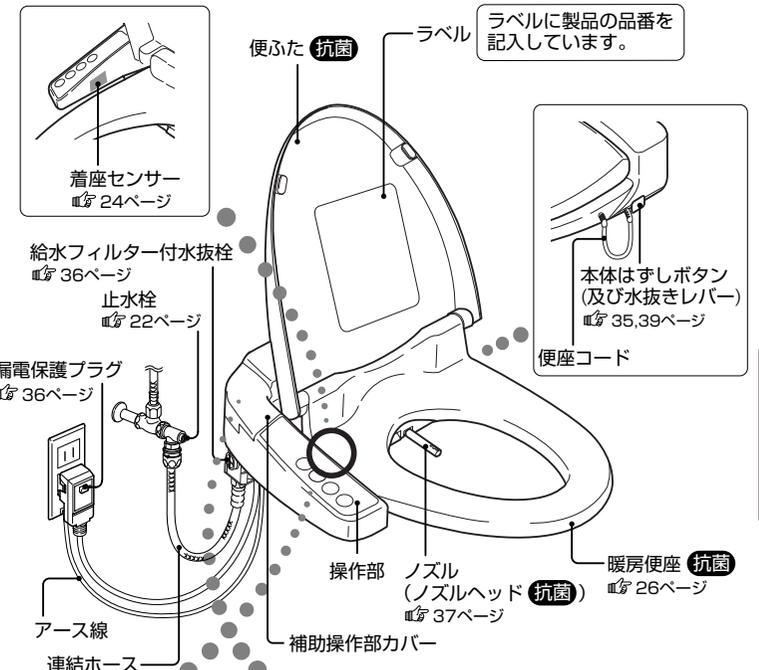
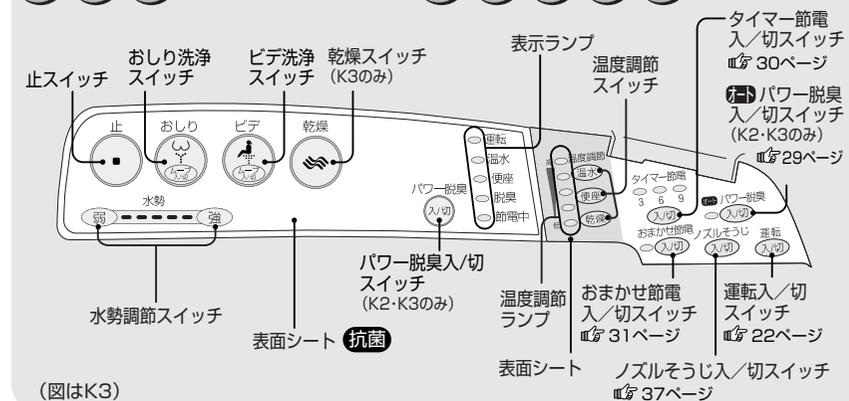
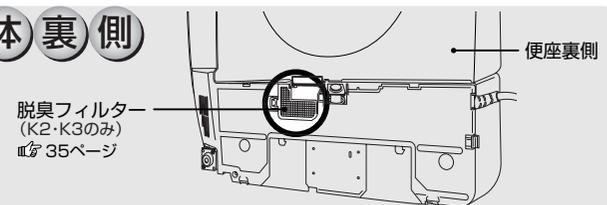
使った後は便ふたを閉めておくと、便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。

5 長時間使用しないときは「運転入／切」スイッチを「切」にしましょう

外出時などに「運転入／切」スイッチを「切」にしておくと節電になります。

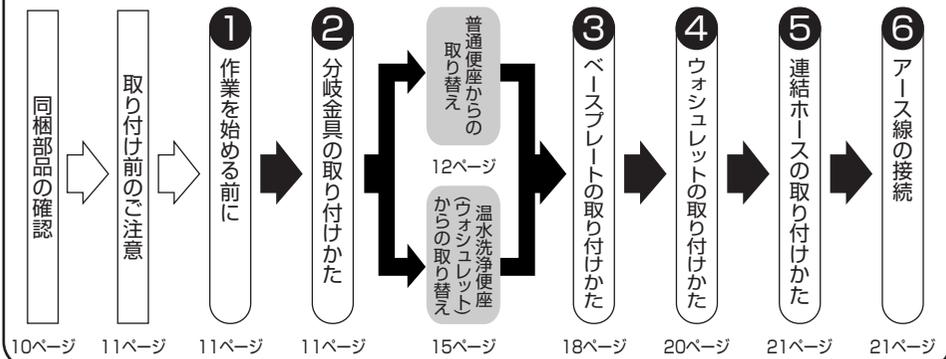
☞ 22ページ

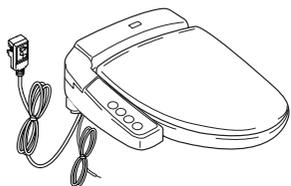
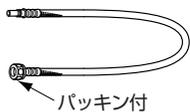
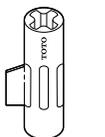
4 各部のなまえ

このページで各部のなまえをよくご理解していただき、その後のご使用にお役立てください。

お取り付けの前には必ずこの章をよくお読みいただき、手順に従って正しく取り付けてください。
商品については、TOTO（株）お客様相談室TEL 0120-03-1010、FAX 0120-09-1010にお問い合わせください。

※安全上の警告・注意及び使用上のご注意（☞2〜5ページ）を必ずお守りください。

取り付け手順

次の手順に従って、正しく取り付けてください。

同梱部品

ウォシュレット本体

使用する主なもの	次の工具があれば便利です。
⊕ドライバー　洗面器，ぞうきん　メジャー	● モンキーレンチ ● ⊖ドライバー ● パイプカッター（内ねじタイプ止水栓のとき、フレキホースを使用せず、給水管を切断するときに使用します。）

● 次の部品があるかどうか確認してください。

①ロータンク接続用フレキホース
長さ：400㎜
ゴムパッキン(2枚)
フィルター
パッキン

②連結ホース
長さ：970㎜
パッキン付

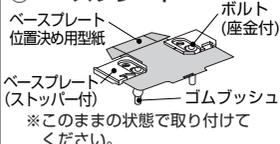
③ベースプレート
ベースプレート位置決め用型紙
ボルト(座金付)
ベースプレート(ストッパー付)
ゴムブッシュ
※このままの状態で取り付けてください。

④分岐金具（スピンドル付）
スピンドル
分岐金具(パッキン付)
※スピンドルは分岐金具にセットされています。

⑤分岐継手
パッキン
2枚(1枚予備)
※内ねじタイプの止水栓のときのみ使用します。

⑥便座はずし工具

⑦専用スパナ
先端部⊖ドライバー付

⑧取扱説明書，保証書，アンケートはがき

取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが作動しません。
（新型のベースプレートは本体着脱検出用スイッチを内蔵しています。）

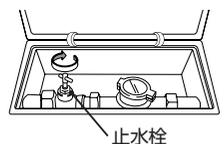
1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
   温水タンクが空の状態でヒータが入るため、故障の原因になります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は413Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。（ウォシュレット専用の分岐配線をおすすめします。）
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントの位置はウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
5. 給水圧力は流動時0.05MPa〜0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0〜35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 連結ホースの長さは約970㎜です。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし連結ホースの長さが足りない場合は、☞21ページ〔❺連結ホースの取り付けかた〕の③項に長い連結ホースを記載していますので適切な長さのホースを選んでください。
   お求めはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター TEL 0120-8282-55、FAX 0120-8272-99へご連絡ください。
8. 内ねじタイプの止水栓の場合や温水洗浄便座（ウォシュレット）からの取り替えの場合、同梱のロータンク接続用フレキホースを使用します。もし、フレキホースの長さが合わない場合は、☞14ページ〔❹ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける〕に長さ違いのフレキホースを記載していますので適切な長さのフレキホースを選んでください。
   お求めはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター TEL 0120-8282-55、FAX 0120-8272-99へご連絡ください。
   ※フレキホースを使用せず既設の給水管を切断して使用することもできます。☞14ページ
9. フラッシュバルブ式便器への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。

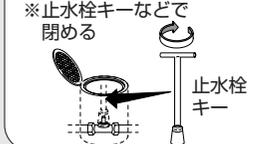
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

1 作業を始める前に

水道の元栓を閉める

- 元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。
- 元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

※メーターボックスの止水栓を閉める

埋込み式の元栓の場合

※止水栓キーなどで閉める

マンションの場合

※玄関入口横の扉の中などにあります。

2 分岐金具の取り付けかた

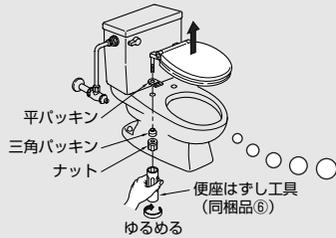
- 現在ご使用の便座を確認してください。

普通便座の場合	温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合

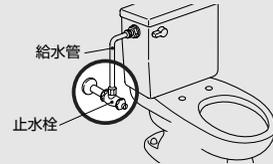
☞12ページ
普通便座からの取り替え
にお進みください。

☞15ページ
温水洗浄便座(ウォシュレット)からの取り替え
にお進みください。

普通便座からの取り替え

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

1.普通便座を取りはずす

2.分岐金具を取り付ける

● 現在ご使用の止水栓のタイプを確認してください。

一般的な止水栓	内ねじタイプの止水栓	寒冷地用の場合
● アングル形　● ストレート形 外径13㎜の給水管 止水栓	● アングル形　● ストレート形 外径13㎜の給水管 本体の内側にねじが切ってあるタイプ 止水栓	

☞12ページ A にお進みください。

☞13ページ B にお進みください。

専門業者による取り付けが必要です。お近くの販売店又はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターTEL 0120-1010-05、FAX 0120-1010-02にご依頼ください。

A. 一般的な止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナ を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

❶ 止水栓の部品を取りはずす

❷ 分岐金具（同梱品④）を止水栓に取り付ける

①スピンドルを分岐金具から引っ張ってはずし、止水栓の奥までねじ込む

②スピンドルに分岐金具（パッキン付）を通して取り付ける

③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
※分岐金具は連結ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

④分岐金具を取り付けた後、止水栓は必ず閉める

※連結ホース接続部は下に向ける。

スピンドル（同梱品④）
止水栓
パッキン付
分岐金具（同梱品④）
スパナ
スパナ（先端は ⊖ ドライバー付）

取付完成図

回転構造

☞18ページ ❸ ベースプレートの取り付けかた にお進みください

B. 内ねじタイプの止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナ を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。
※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

❶ ロータンクの水を抜く

① ロータンクふたをはずす
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。

② 止水栓を閉める

③ ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

スパナ（先端は ⊖ ドライバー付）

❷ 給水管を取りはずす

① 上下のナットをゆるめる

② 給水管を取りはずす

※ 配管内の残水を洗面器などで受ける

ボールタップ本体
スパナ
※転居などのため保管をおすすめします。

注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。
スパナ　ボールタップ本体　ナット　ロータンク

注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。
消音ブッシュ

取り付けかた

③ 分岐継手（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける

①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む
※内ねじタイプの場合、スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

③袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は連結ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

分岐継手（同梱品⑤）
スピンドル（同梱品④）
パッキン（同梱品⑤）
パッキン付
スパナ
分岐金具（同梱品④）
止水栓

取付完成図

回転構造
止水栓
※この部分を回しても止水できません。

ワンピース便器の場合の取付完成図

取付手順

①．止水栓を閉める
②．ふさぎナット，ゴムパッキンをはずす（既設品）
③．パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
④．スピンドルごと分岐金具を分岐継手に取り付ける
⑤．②のふさぎナット，ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

確認

⑥．接続部から水漏れがないか確認する

分岐継手（同梱品⑤）
便器
止水栓
分岐金具（同梱品④）
ふさぎナット ゴムパッキン（既設の止水栓のものをはずして付け替える）
この部分を回しても止水できません。

④ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける

※フレキホースには接続の方向性があります。（両端のナットの形状が違います。）

ゴムパッキン（消音ブッシュがある場合は不要）
フィルター
ゴムパッキン
スパナ
ナット（大）
ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）
ナット（小）
パッキン
分岐金具
分岐継手
止水栓

①ロータンク（ボールタップ）側の袋ナットを締め付ける

②分岐継手側の袋ナットを締め付ける

注意

- ボールタップ本体をしっかり持って袋ナットを確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

スパナ
ボールタップ本体
袋ナット
ロータンク

※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、右図のA寸法に合ったフレキホースを表より選んでご購入ください。
（同梱品のフレキホースの長さは400mmです。）

給水管
A寸法

A寸法が150～200mmの場合は、450mmのフレキホースをループさせてご使用ください。

ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧表

A寸法（mm）	フレキホース長さ（mm）	品　番	希望小売価格
120～150	200	TCA61-2R	¥1,450（税込 ¥1,523）
200～250	300	TCA61-3R	¥1,550（税込 ¥1,628）
250～300	350	TCA61N	¥1,600（税込 ¥1,680）
300～400	450	TCA61-1N	¥1,700（税込 ¥1,785）

- 品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ロータンク接続用フレキホースを使用せずに取りはずした給水管を切断して使用することもできます。

①給水管を切断する

差込部分10～15mmを必ず確保する

パイプカッター
給水管
10～15mm
分岐継手

- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。

②給水管を取り付ける

スパナ
分岐継手

☞18ページ ③ ベースプレートの取り付けかた にお進みください

温水洗浄便座（ウォシュレット）からの取り替え

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

1.温水洗浄便座（ウォシュレット）を取りはずす

2.分岐金具を取り付ける

C. 一般的な止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナ を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

❶ ロータンクの水を抜く

①ロータンクふたをはずす
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。

②止水栓を閉める

③ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

スパナ（先端は⊖ドライバー付）

❷ 分岐金具と給水管を取りはずす

※給水管と止水栓の間に分岐金具が接続されてない場合（最下図〈他社品〉）、給水管ははずさずにそのままご使用ください。

①上下のナットをゆるめる

②給水管を取りはずす

③分岐金具を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

※転居などのため保管をおすすめします。

ボールタップ本体、スパナ、給水管、止水栓

注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

スパナ、ボールタップ本体、ナット、ロータンク

注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

消音ブッシュ

❸ 止水栓の部品を取りはずす

12ページ「❶止水栓の部品を取りはずす」を参照ください。

❹ 分岐金具（同梱品④）を止水栓に取り付ける

13ページ「❷分岐金具（同梱品④）を止水栓に取り付ける」を参照ください。

❺ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける

14ページ「❹ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける」を参照ください。

● 製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。

※給水管と止水栓の間に分岐金具が接続されてない場合、給水管ははずさずにそのままご使用ください。

給水管、スパナ、分岐金具、止水栓

〈TOTO品〉　〈他社品〉　〈他社品〉

分岐金具の取替完成図

新しいフレキホース

新しい分岐金具

〈TOTO品の場合〉

18ページ ❸ ベースプレートの取り付けかた にお進みください

D. 内ねじタイプの止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナ を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。
※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

❶ ロータンクの水を抜く

①ロータンクふたをはずす
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。

②止水栓を閉める

③ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

スパナ（先端は⊖ドライバー付）

❷ 分岐金具と給水管を取りはずす

①上下のナットをゆるめる

②給水管を取りはずす

③分岐金具を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

※転居などのため保管をおすすめします。

ボールタップ本体、スパナ

注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

スパナ、ボールタップ本体、ナット、ロータンク

注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

消音ブッシュ

❸ 分岐継手（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける

14ページ「❸分岐継手（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける」を参照ください。

❹ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける

14ページ「❹ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける」を参照ください。

● 製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。

給水管、スパナ、分岐金具

〈他社品〉　〈他社品〉　〈他社品〉

分岐金具の取替完成図

新しいフレキホース

新しい分岐金具

18ページ ❸ ベースプレートの取り付けかた にお進みください

❸ ベースプレートの取り付けかた

ベースプレートを取り付ける

❶ ベースプレート（同梱品③）をセットする

ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

❷ 便器のサイズを調べる

❸ ベースプレートの位置を決める

❹ ベースプレートを固定する

❺ 型紙をはずす

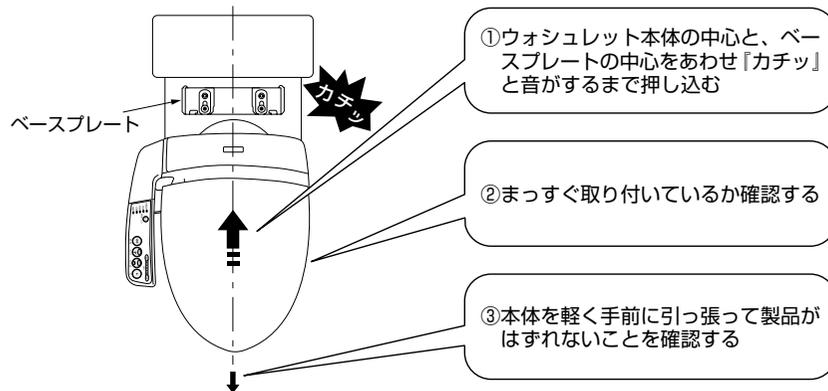
取り付けかた

❹ ウォシュレットの取り付けかた

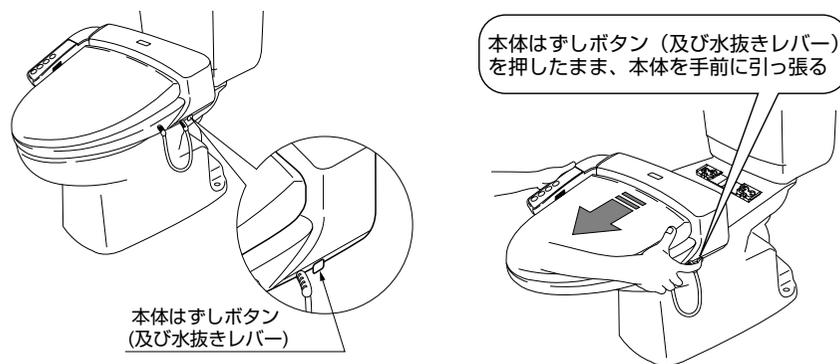
ウォシュレットを取り付ける

①ウォシュレット本体の中心と、ベースプレートの中心をあわせ『カチッ』と音がするまで押し込む

②まっすぐ取り付いているか確認する

③本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認する

注意 正しく取り付かなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

☞ 18ページ ❸ ベースプレートの取り付けかた に戻ってください

本体の取りはずしかた

※本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これは本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。異常ではありません。

※標準サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、本体をはずして再度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。

※大型サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便座先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは再度ベースプレートの位置を調整してください。

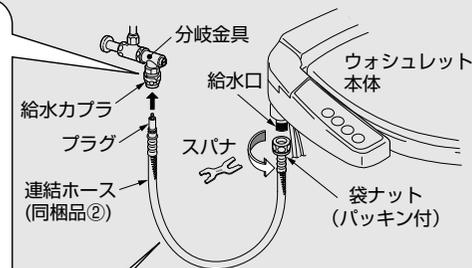
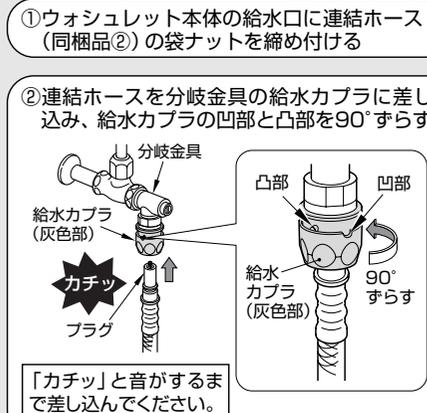
❺ 連結ホースの取り付けかた

連結ホースを接続する

● ウォシュレットをベースプレートから取りはずした状態で接続すると作業しやすくなります。

①ウォシュレット本体の給水口に連結ホース（同梱品②）の袋ナットを締め付ける

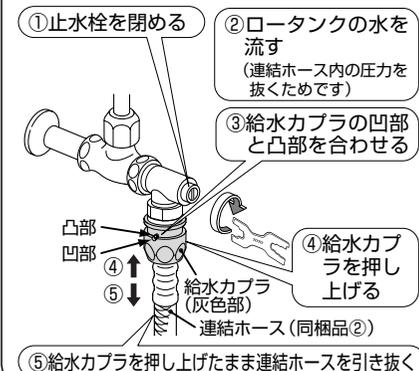
②連結ホースを分岐金具の給水カプラに差し込み、給水カプラの凹部と凸部を90°ずらす

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

③連結ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

※連結ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。（同梱品の連結ホースの長さは970mmです。）
お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターTEL ☎0120-8282-55、FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。

連結ホース長さ違い一覧表	
ホース長さ（mm）	品　番
1180	D24009ZNt5
1480	D24009ZNt6
1980	D24009ZNt7

※分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、連結ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

連結ホースのはずしかた

❻ アース線の接続

アース線を確実に取り付ける

● アース線をコンセントのアース端子に接続してください。

※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

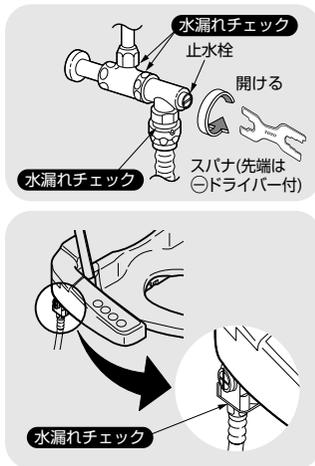
1 水漏れの点検

①給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する。

②水道の元栓を開く。

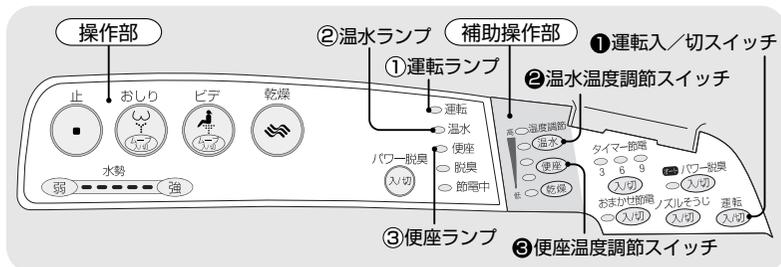
③止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。

④ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。

※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

2 漏電保護プラグの確認

- 「切表示」ランプが消灯していることを確認してください。
  「切表示」ランプが点灯しているときは、「入(リセット)」ボタンを押すと、「切表示」ランプは消灯します。
- 詳しくは☞36ページの「漏電保護プラグのお手入れ・点検」をご覧ください。

3 「本体表示部」の確認

確認	対処
「運転ランプ ①」は点灯していますか？	点灯していないときは、補助操作部の「運転入/切」スイッチ❶を押し、ランプを点灯させます。
「温水ランプ ②」は点灯していますか？	点灯していないときは、補助操作部の「温水温度調節」スイッチ❷を押し、ランプを点灯させます。
「便座ランプ ③」は点灯していますか？	点灯していないときは、補助操作部の「便座温度調節」スイッチ❸を押し、ランプを点灯させます。

4 試運転

①着座センサーを白紙でおおう。

- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。
  (便ふたを開けないと着座センサーははたらきません。)

②脱臭機能を確認する。(K2・K3のみ)

- 操作部側面の吹出口より風が出ていますか？

③パワー脱臭機能を確認する。(K2・K3のみ)

- 操作部の パワー脱臭 (入/切) を押すと風が強くなりますか?
- もう一度、パワー脱臭 (入/切) を押すと元の強さに戻りますか?

④洗浄機能を確認する。

- おしり ビデ のいずれかを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。
- 水勢調節スイッチ

  を押すと水の量が変わりますか？
- 止 (■) を押すと止まりますか？

⑤乾燥機能を確認する。(K3のみ)

- 乾燥 を押すとノズルの左側から温風がでますか？
- 止 (■) を押すと止まりますか？

⑥暖房便座機能を確認する。

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

⑦着座センサーの白紙をはずす。

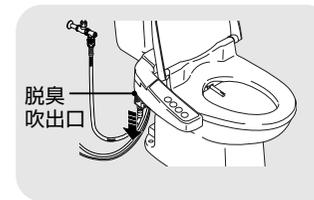
⑧オートパワー脱臭機能を確認する。

- 白紙をはずしたときに脱臭音が大きくなりますか?

※着座センサーを30秒以上白紙でおおわないとオートパワー脱臭は作動しません。

- 1分後に自動的に止まりますか？

⑨確認後、止水栓を閉めた後、給水フィルター付水抜栓に付いているゴミを水洗いして取りのぞく。

- 詳しくは☞36ページ「給水フィルター付水抜栓のお手入れ」をご覧ください。

☞ アドバイス 1

アドバイス 1

施工時に発生したごみがフィルターに詰まると、おしり・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。
取り付け後は必ず給水フィルター付水抜栓の掃除を行ってください。

7 使いかた

はじめてお使いになる方でも簡単に操作できます。

アドバイス 1

着座センサーについて…

- 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは下図のように光（赤外線）が出ています。

- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。
☞41ページ

アドバイス 2

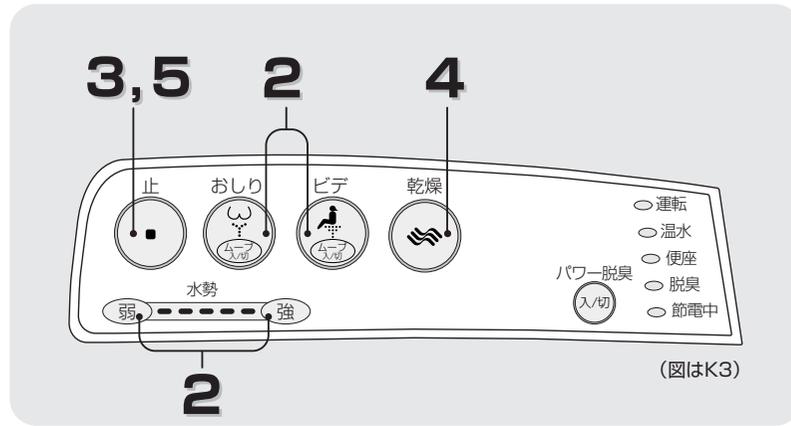
便座には深く腰掛けましょう！

洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

アドバイス 3

- 温水タンクは貯湯式ですので連続して使用するとお湯の温度が低くなることがあります。

■ 標準的な使いかた

（図はK3）

1 座　る

着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。 ☞アドバイス 1

- 脱臭がはじまります。（K2・K3のみ）
  パワー脱臭もお試しください。☞29ページ
- 洗浄，乾燥（K3のみ）が使えるようになります。

2 洗　う

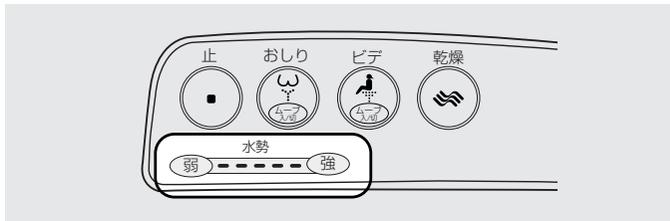
おしり　ビデ

❶お湯を出します。☞アドバイス 2

- おしり洗浄 [おしり] を押す。
- ビデ洗浄 [ビデ] を押す。

❷水勢を調節します。

3 止める

止

4 かわかす

乾燥 （K3のみ）

- 温風を当て、さらりとさせます。
- トイレットペーパーでかるく水滴をとると早く乾きます。

5 止める

止

6 立ち上がる

- オートパワー脱臭がはじまり、約1分後に止まります。（K2・K3のみ）

☞アドバイス 4

アドバイス 4

便座に座る時間が短いとオートパワー脱臭がはじまらないことがあります。

■ さらに快適な使いかた

快適洗浄　ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

①   ご使用になるスイッチを押します。

② もう一度スイッチを押すとムーブ洗浄をします。

③ 更にもう一度スイッチを押すとムーブ洗浄を止めます。

知っておいていただきたいこと

- 洗浄時、ノズルの根元から水が出ますが機能上必要なもので異常ではありません。
  ※洗浄中でないときに、連続して水が出るときは、故障と考えられます。止水栓を閉めたあと、販売店又はTOTOメンテナンス（株）修理受付センター TEL ☎0120-1010-05、FAX ☎0120-1010-02へご連絡ください。
- ノズルの右側からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。
- ウォシュレットは、水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）を直接使用しています。（ロータンクの水を使用することはありません。）

8 快適な機能

より快適にお使いいただくための機能をご紹介します。

アドバイス 1

●温度調節ランプは、温水・便座・乾燥温度の表示を共用しています。温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。（乾燥はK3のみ）

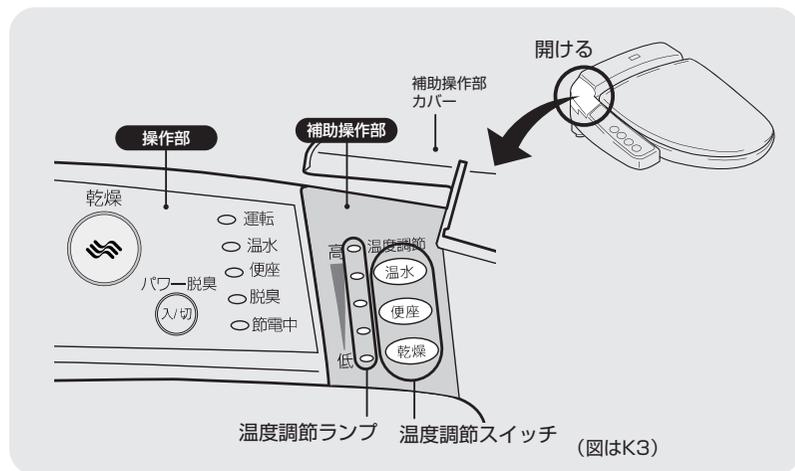
アドバイス 2

●温度調節中に約10秒間スイッチから手を離すと温度調節ランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。

温度調節のしかた

◎ 温水，便座，乾燥の温度は補助操作部の温度調節スイッチで調節できます。
お好みの温度でご使用ください。

■ 温度を変更したいとき

（図はK3）

❶ 補助操作部の温度調節スイッチを押す

 アドバイス 1

● (温水), (便座), (乾燥)のうち、温度を変更したいスイッチを押してください。

▼

温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

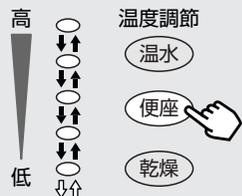
（(乾燥)スイッチはK3のみ）

例）便座温度を変更する場合

便座温度レベルを表示

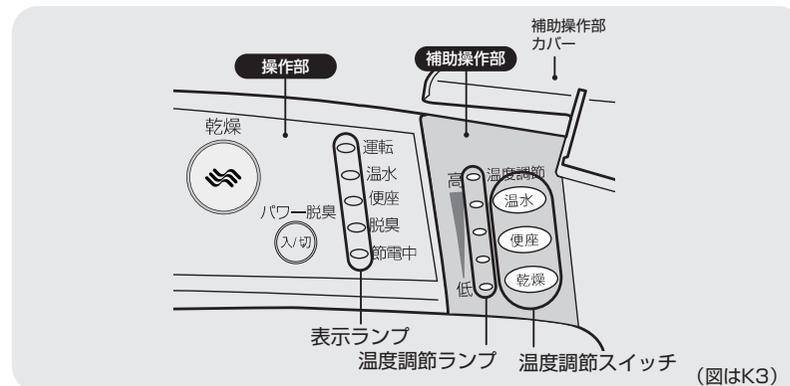
❷ お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

●スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります。 アドバイス 2

温度レベルの切り替わり方

温度調節ランプが消灯したら「切」になります。
（乾燥は「切」がありません）

■ 温水または便座を「切」にしたいとき

●乾燥は、温度調節スイッチで切ることはできません。

（図はK3）

❶ 補助操作部の温度調節スイッチを押す

● (温水), (便座) のうち、「切」にしたいスイッチを押してください。

▼

温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

例）便座を「切」にする場合

❷ 温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

▼

温度調節ランプが消灯し、「切」になります。

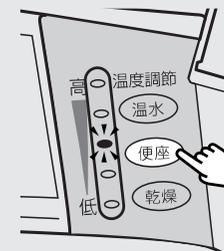
 アドバイス 3

■ 温水または便座を「入」にしたいとき

❶ (温水), (便座)のうち「入」にしたいスイッチを押す

▼

温度調節ランプが点灯し、「入」になります。

 アドバイス 4

アドバイス 3

●温度調節ランプの消灯と共に、表示ランプも消灯します。

アドバイス 4

●温度調節ランプの点灯と共に、表示ランプも点灯します。

脱臭のしかた（K2・K3のみ）

標準の脱臭の使いかた

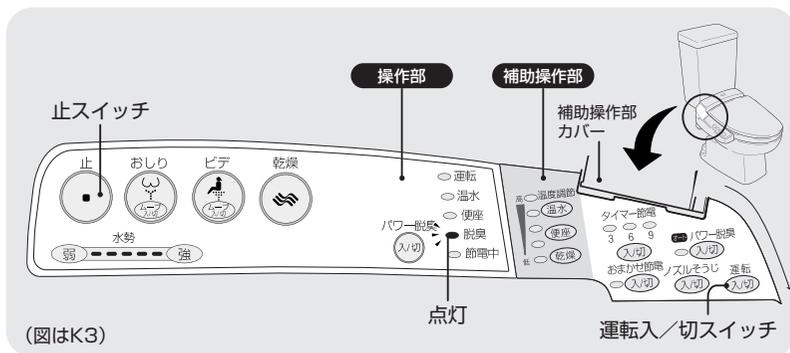
■ 脱臭を使うとき

◎ 便器内のにおいをとります。

❶ 便座に座る

脱臭を始めます。

アドバイス 1

● 操作部の「脱臭」ランプが点灯します。

（図はK3）

❷ 便座から立ち上がる

約1分後に自動的に止まります。

● 操作部の「脱臭」ランプが消灯します。

■ 脱臭を使わないとき

❶ 操作部の「止」スイッチを10秒間押す
- 操作部の表示ランプがすべて点滅します。

❷ 補助操作部の「運転入／切」スイッチを押す
- 操作部の「脱臭」ランプのみ点滅します。

❸ もう一度、「運転入／切」スイッチを押す
- 「脱臭」ランプが消灯します。

❹ もう一度、「止」スイッチを押す

標準の脱臭，オートパワー脱臭をやめます。

- パワー脱臭のみ使えます。

■ 再び脱臭を使うとき

❶ 操作部の「止」スイッチを10秒間押す
- 操作部の表示ランプがすべて点滅します。

❷ 補助操作部の「運転入／切」スイッチを押す
- すべてのランプが消灯します。

❸ もう一度、「運転入／切」スイッチを押す
- 「脱臭」ランプが点滅します。

❹ もう一度、「止」スイッチを押す

アドバイス 1

- はじめは、脱臭は「入」に設定されています。

パワー脱臭の使いかた

■ パワー脱臭を使うとき

◎ 便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のにおいをとります。 アドバイス 2

❶ 操作部の「パワー脱臭入／切」スイッチを押す

パワー脱臭を始めます。

■ パワー脱臭をやめるとき

❶ もう一度「パワー脱臭入／切」スイッチを押す

標準の脱臭風量に戻ります。

アドバイス 3

オートパワー脱臭の使いかた

■ オートパワー脱臭を使うとき

◎ 便座から立ち上がると自動的にパワー脱臭を行います。

● 補助操作部の、「オートパワー脱臭」ランプが点灯していることを確認してください。

❶ 便座から立ち上がる

オートパワー脱臭を始めます。

アドバイス 4

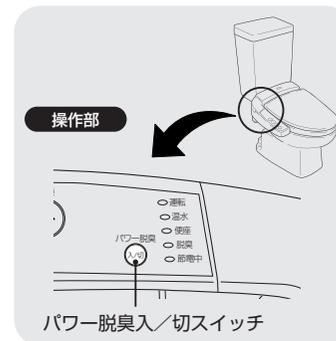
● 約1分後に自動的に止まります。

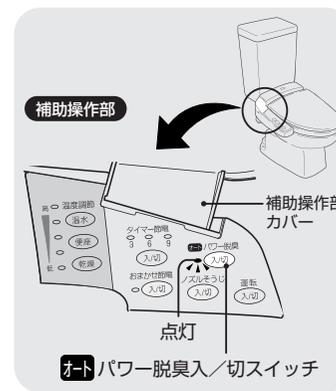
補助操作部
補助操作部カバー
点灯
オートパワー脱臭入／切スイッチ

■ オートパワー脱臭を使わないとき

❶ 補助操作部の「オートパワー脱臭入／切」スイッチを押す

オートパワー脱臭をやめます。

● 補助操作部の「オートパワー脱臭」ランプが消灯します。

アドバイス 2

- 「パワー脱臭」は、便座に座らないとはたらきません。一旦便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。

アドバイス 3

- 「パワー脱臭」を切らずに、立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

アドバイス 4

- はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。

9

節電機能

節電を上手に行っていただくための機能をご紹介します。

タイマー節電のしかた

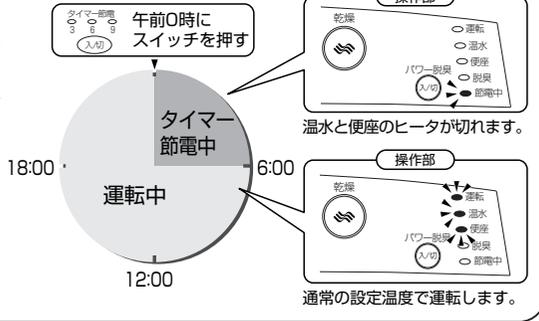
タイマー節電とは…

◎ 一度設定すると毎日その時間に自動的に節電します。
タイマー節電中は温水と便座のヒータが切れます。

■ 例えば…
午前0時から6時まで節電する場合

● 翌日からも自動的に、同じ時間帯に節電します。

温水と便座のヒータが切れます。

通常の設定温度で運転します。

■ タイマー節電をするとき

❶ 節電を開始したい時間に補助操作部の「タイマー節電入／切」スイッチを押す

節電を始めます。

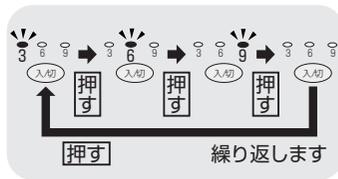
● 補助操作部の「タイマー節電」ランプ「3」が点灯します。
● 操作部の「節電中」ランプ(みどり色)が点灯します。

アドバイス 1･2

■ 節電時間の変更

◎ 3・6・9時間のいずれかに設定変更ができます。

❶「タイマー節電入／切」スイッチを押す

● スイッチを押すごとに3→6→9→切(ランプ点灯なし)の順でランプ表示が変わります。
設定したい時間をお選びください。

■ タイマー節電をやめるとき

❶「タイマー節電」ランプが消えるまで「タイマー節電入／切」スイッチを繰り返し押す

節電をやめます。

● 操作部の「運転」・「温水」・「便座」ランプが点灯します。

アドバイス 1

タイマー節電中でも使えます

● 節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒータが入ります。
● 温水になるまで約10分かかります。
● 便座があたたまるまで約15分かかります。

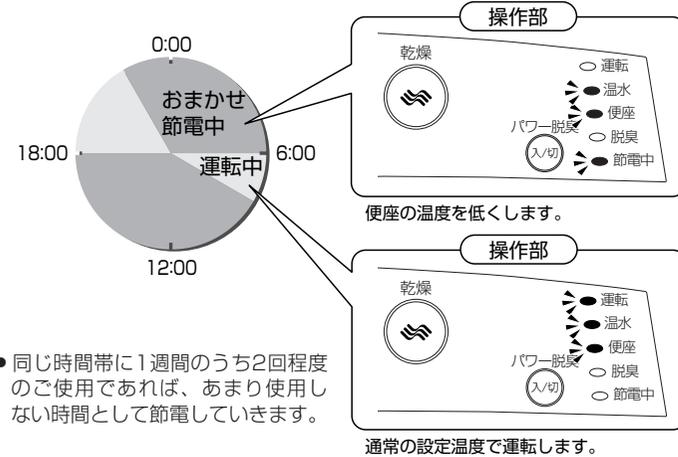
アドバイス 2

● 節電開始時間を変更したいときは、一旦タイマー節電をやめてから、開始したい時間にもう一度「タイマー節電入／切」スイッチを押してください。

おまかせ節電のしかた

おまかせ節電とは…

◎ トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動的に便座の温度を下げて節電します。

便座の温度を低くします。

● 同じ時間帯に1週間のうち2回程度のご使用であれば、あまり使用しない時間として節電していきます。

通常の設定温度で運転します。

■ おまかせ節電をするとき

❶ 補助操作部の「おまかせ節電入／切」スイッチを押す

自動的に便座の温度を下げて、節電を始めます。

● 補助操作部の「おまかせ節電」ランプが点灯します。
● あまり使用しない時間になると操作部の「節電中」ランプ(オレンジ色)が点灯します。

アドバイス 3･4

操作部　補助操作部　補助操作部カバー　点灯(オレンジ色)　点灯　おまかせ節電入／切スイッチ

■ おまかせ節電をやめるとき

❶「おまかせ節電入／切」スイッチを押す

おまかせ節電をやめます。

● 補助操作部の「おまかせ節電」ランプが消灯します。
● 操作部の「運転」ランプが点灯します。

アドバイス 3

● トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2~3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。
● おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定しています。

使いかた

アドバイス 4

おまかせ節電中でも使えます

● 節電中でも便座に座れば、一時的に便座をあたためます。
● 便座があたたまるまで約5分かかります。

タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

◎ スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

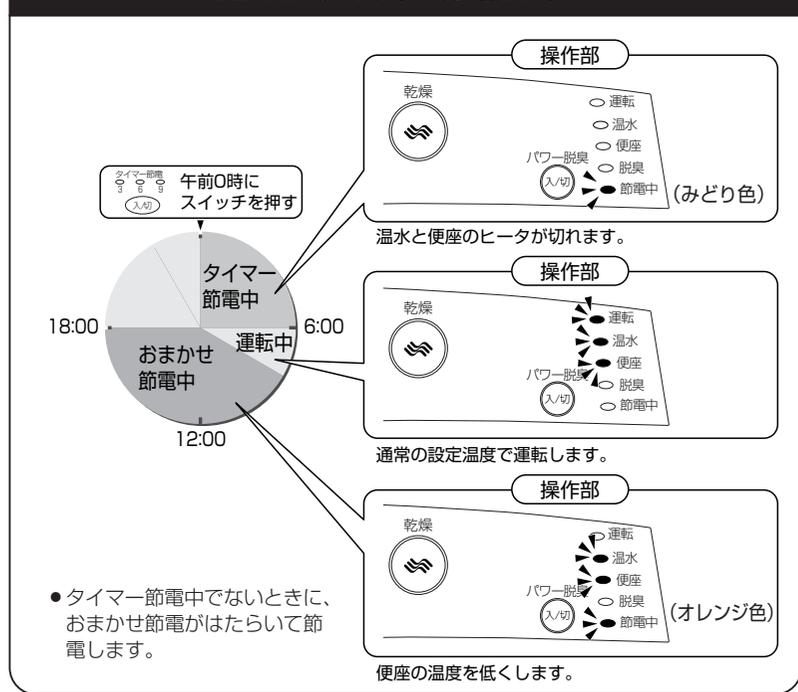
❶ **節電を開始したい時間に、補助操作部の「タイマー節電入／切」スイッチを押す**

- 詳しくは、「タイマー節電のしかた」
  ☞ 30ページをご覧ください。

❷ **「おまかせ節電入／切」スイッチを押す**

- 詳しくは、「おまかせ節電のしかた」
  ☞ 31ページをご覧ください。

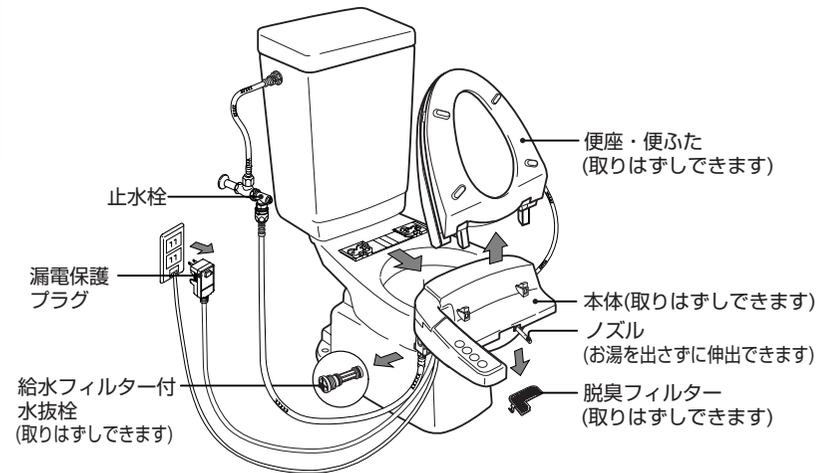
たとえば、次のように節電します

- タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。

10 お手入れのしかた

いつまでも快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

お手入れの前に

■ 各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます

止水栓
漏電保護プラグ
給水フィルター付水抜栓
(取りはずしできます)
便座・便ふた
(取りはずしできます)
本体(取りはずしできます)
ノズル
(お湯を出さずに伸出できます)
脱臭フィルター
(取りはずしできます)

日常のお手入れ

■ 本体，便座，便ふたのお手入れ

❶ **やわらかい布で水ぶきする**

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

☞ アドバイス 1・2

❷ **汚れがひどいときは…**

- ウォシュレットクリーナー又はうすめた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。
- その後、水ぶきを行ってください。
  ウォシュレットクリーナーのお求めは
  ☞ 43ページ

❸ **便器用洗剤がウォシュレットに付着したときは…**

- やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

アドバイス 1

- 製品はプラスチックでできていますので、乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。

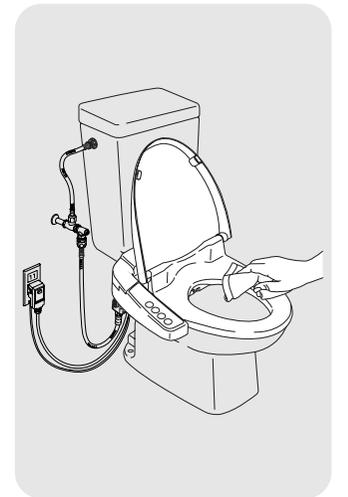
アドバイス 2

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。
  洗剤が本体と便器のすき間に残らないようしっかりふき取ってください。

アドバイス 3

- 着座センサー窓をきれいにしましょう。汚れていると各機能が作動しません。
  ☞24，41ページ

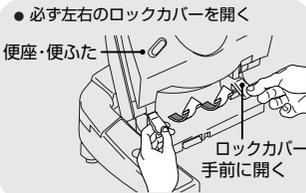
便器内を洗剤でお手入れするときは…

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消臭剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふきとってください。(便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。)

念入りなお手入れ

■ 本体，便座，便ふたのお手入れ（週に1度が目安です）

◎ 便座・便ふたが取りはずせますので、すみずみまで掃除できます。

❶ ロックカバーを開ける

● 便座・便ふたを開け、左右のロックカバーを手前に開いてください。

❷ 便座・便ふたを引き上げる

● 便座･便ふたの左右を両手で持ち､真上に引き上げてください。 ☞ アドバイス 1

※便座コードははずせません。

※斜めに引き上げたり、無理な力を加えないでください。(破損の原因になります。)

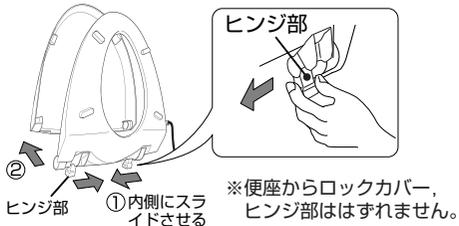
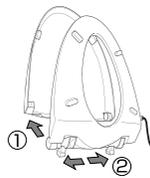
● 便座・便ふたを真上に引き上げる

❸ 掃除をする

● 詳しくは☞33ページの「日常のお手入れ」をご覧ください。

ちょっと一言…便座から便ふたをはずすことができます。

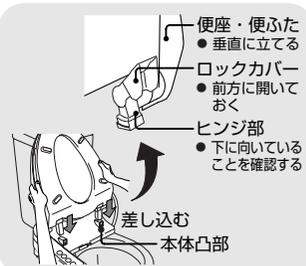
【取りはずしかた】
①左右のヒンジ部を内側に動かす。
②便座と便ふたがはずれます。

※便座からロックカバー，ヒンジ部ははずれません。

【取り付けかた】
①便ふたの上に便座を合わせる。
②左右のヒンジ部を外側に動かす。

❹ 便座・便ふたを取り付ける

● 左右のヒンジ部を下に向けてください。

● 便座・便ふたのヒンジ部を本体凸部に合わせて差し込んでください。

※便座コードを便器と便座の間にはさまないようにしてください。

※便座コードをねじったまま取り付けないでください。

❺ ロックカバーを閉める

● 左右のロックカバーを「カチッ」と音がするまで、確実に閉めてください。

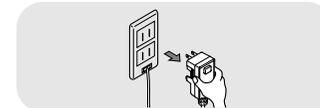
アドバイス 1

● 取りはずした便座・便ふたは傷がつかないようにして置いてください。

● 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、本体を取りはずさないでください。(床や便器内に落とし、故障の原因になります。)

■ 本体と便器のすき間のお手入れ（月に1度が目安です）

◎ 本体を取りはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。

❶ 漏電保護プラグを抜く

❷ 本体を取りはずす ☞ アドバイス 2

● 本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、本体を手前に引いてください。

※連結ホース，アース線がありますので、無理に引っ張らないでください。

❸ 掃除をする

● お手入れのしかたは☞33ページの「日常のお手入れ」をご覧ください。

❹ 本体を取り付ける

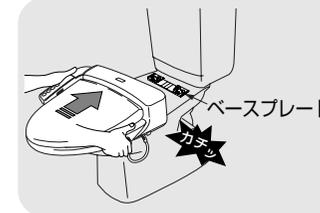
● 本体の中心とベースプレートの中心を合わせてください。

● 便器面に本体をすべらせるように押し込んでください。

● 「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。

※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

☞ アドバイス 3

ベースプレート
カチッ

■ 脱臭フィルターのお手入れ（K2・K3のみ）

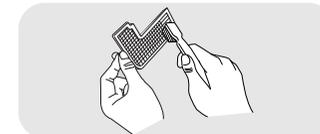
◎ 本体を取りはずしてから脱臭フィルターのお手入れを行ってください。

❶ 脱臭フィルターをはずす

● 脱臭フィルターの左側にあるつめ部を指で押しながら、手前に引いてください。

❷ 掃除をする

● 脱臭フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。

☞ アドバイス 4

❸ 脱臭フィルターを取り付ける

● 「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

アドバイス 2

● 本体をはずした状態で本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引くと製品内の水が出てきます。(約1.2L)
本体はずしボタン(及び水抜きレバー)は水抜きのとき以外は引かないでください。

アドバイス 3

● ベースプレートに「本体着脱検出用スイッチ」が内蔵されています。

アドバイス 4

脱臭フィルターの掃除

● はずしたフィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。

脱臭フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。

※詳しくは☞43ページ「交換部品／別売品」をご覧ください。

その他のお手入れ

■ 漏電保護プラグのお手入れ・点検

◎ 漏電保護プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

❶ 漏電保護プラグを抜く

❷ 掃除をする

- 漏電保護プラグに付いたほこりを乾いた布で取り除いてください。

❸ 漏電保護プラグを差し込む

❹ 点検をする

- 「切(テスト)」ボタンを押す。
  (「切表示」ランプが点灯します。)

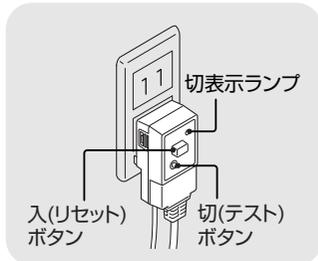
 アドバイス 1

- 「入(リセット)」ボタンを押す。
  (「切表示」ランプが消灯します。)

以上の動作であれば正常です。

切表示ランプ
入(リセット)ボタン
切(テスト)ボタン

アドバイス 1

- 「切(テスト)」ボタンを押すとタイマー節電が「切」になります。
  もう一度設定し直してください。
  ☞30ページ
  おまかせ節電は、その日の節電運転がはたらかない場合がありますが、翌日からはもとのとおりにはたらくようになります。

■ 給水フィルター付水抜栓のお手入れ

◎ おしり・ビデ洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルター付水抜栓のお手入れを行ってください。

❶ 止水栓を閉めて給水を止める

- 止水栓をスパナ(⊖ドライバー付)で止まるまで閉めてください。

⚠ 注意

禁止 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
- 水が噴き出します。

- 「ノズルそうじ入／切」スイッチを押し、ノズルを伸出させた後、もう一度同スイッチを押してください。(給水管内の圧抜きをします。)

❷ 給水フィルター付水抜栓をはずす

- 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーなどで左に回してゆるめた後、引っ張ってはずしてください。

給水フィルター付水抜栓
水受け
給水フィルター付水抜栓取付穴

❸ 掃除をする

- フィルターに付いているゴミを水洗いして取り除いてください。
  ※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
- 給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取りのぞいてください。

☞ アドバイス 2

アドバイス 2

フィルターの掃除

- 洗剤は使わず水洗いしてください。
- フィルターの部分は、はずしたり破ったりしないでください。

フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。
※詳しくは☞43ページ「交換部品／別売品」をご覧ください。

❹ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーなどで右に回して止まるまで確実に締めてください。

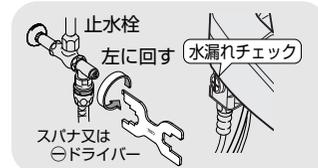
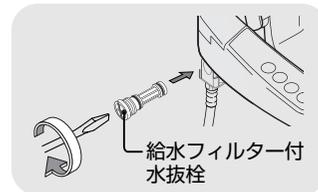
給水フィルター付水抜栓

⚠ 注意

必ず守る 給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
- 確実に締めないと、水漏れの原因になります。

❺ 止水栓を開ける

- 止水栓を⊖ドライバーで開けてください。
- 給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。

止水栓
左に回す
水漏れチェック
スパナ又は⊖ドライバー

■ ノズルのお手入れ

◎ ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

❶ ノズルを出す

- 補助操作部の「ノズルそうじ入／切」スイッチを押してください。

 アドバイス 3

ノズルが出てきます。

- ノズルは、約5分後に自動的に収納します。

❷ 掃除をする

- やわらかい布で水ぶきをしてください。

※ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。
(破損や故障の原因になります。)

❸ ノズルを収納する

- もう一度「ノズルそうじ入／切」スイッチを押してください。

ノズルが収納し、自動的にノズルを洗浄します。

アドバイス 3

- ノズルの根元からおそうじのための水が出ます。

11 凍結による破損の予防

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは、水抜きを行ってください。

凍結が予想されるとき

◎ 製品が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となります。

■ 水抜きのしかた

1.ロータンクの水を抜く

❶止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止めてください。

❷ロータンクレバーを回し、ロータンクの水を抜いてください。

アドバイス 1

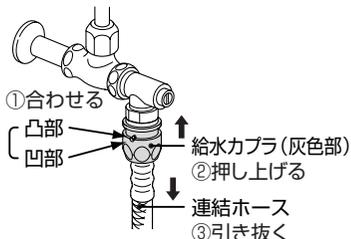
2.配管の水を抜く

❶補助操作部の「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す。(製品内の残水を抜きます。)

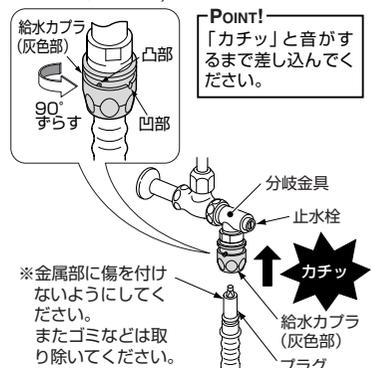
❷給水フィルター付水抜栓をはずす。
給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーなどで左に回してゆるめた後、引っ張ってはずしてください。

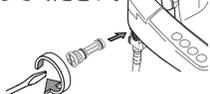
⚠注意

🚫 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
禁止
● 水が噴き出します。

❸連結ホースを給水カプラからはずし、先端を容器で受ける。

❹もう一度「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す。

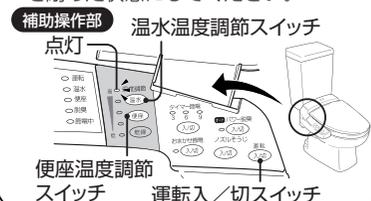
3.連結ホースを接続する。

❶連結ホースを分岐金具の給水カプラに差し込む。
(給水カプラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

4.給水フィルター付水抜栓を取り付ける

❶給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーなどで右に回して止まるまで確実に締めてください。

⚠注意

❗ 給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
必ず守る
● 確実に締めないと、水漏れの原因になります。

5.運転入/切スイッチが「入」であることを確認する

❶補助操作部のカバーを開け「運転入／切」スイッチを「入」にし、温水・便座温度の設定を「高」にしてください。
※凍結予防の作業後には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

長期間使用しないとき

◎ 長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて水抜きを行ってください。

☞ アドバイス 3

■ 水抜きのしかた

1.ロータンクの水を抜く ☞38ページ

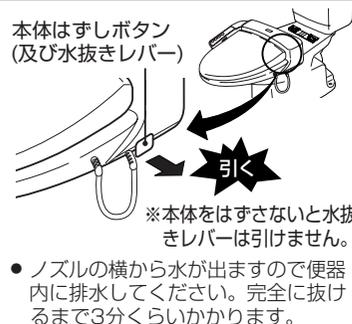
2.配管の水を抜く ☞38ページ

3.漏電保護プラグを抜く

4.本体を取りはずす

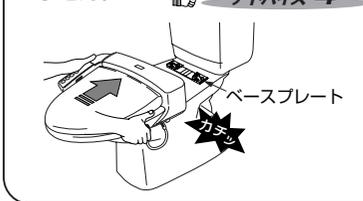
● 本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、本体を手前に引いてください。

5.本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いて本体内の水を抜く

※本体をはずさないと水抜きレバーは引けません。

● ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

6.本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を戻す

7.本体を取り付ける

● 本体の中心とベースプレートの中心を合わせてください。
● 便器面に本体をすべらせるように押し込んでください。
●「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。
※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

☞ アドバイス 4

8.連結ホースを接続する ☞38ページ

9.給水フィルター付水抜栓を取り付ける ☞38ページ

10.便器に不凍液を入れる

☞ アドバイス 5

水抜き後に再通水するとき

1.止水栓を⊖ドライバーで開ける

● 配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。

2.漏電保護プラグをコンセントに差し込む

3.ノズルから吐水させる

● 着座センサーを白紙でおおい、(おしり)又は(ビデ)を押してノズルから吐水させます。
(水は手のひらやぞうきんなどで受けてください。)

☞ アドバイス 6

アドバイス 1

● ロータンクの水が流れ出てしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。

アドバイス 2

凍結が予想されるとき

● 節電はひかえてください。
凍結により製品が破損することがあります。
● タイマー節電をやめるときは ☞30ページ
● おまかせ節電をやめるときは ☞31ページ

アドバイス 3

■冬季に帰省されるとき
■別荘などで使用されるとき

● 水抜きをしましょう!
冬季の留守のときは意外と冷え込みが厳しくなります。
再びご使用になるときのために忘れずに水を抜いてください。

アドバイス 4

● ベースプレートに「本体着脱検出用スイッチ」が内蔵されています。

アドバイス 5

● 便器に残る溜水には、不凍液を入れておくとより安心できます。

アドバイス 6

残水が凍結して水が出ないときは・・・

● 連結ホース及び止水栓の残水が凍結していることがありますので、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で連結ホースや止水栓をあたためてください。

故障かな?!と思ったら

故障かな?と思ったらまずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。
それでも直らないときは、販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

連絡先
TOTOメンテナンス(株)
修理受付センター
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受付：年中無休
受付時間
関東・甲信越地区
8:00～20:00
上記以外の地区
9:00～20:00
訪問修理：
年中無休(一部地域を除く)
営業時間
9:00～18:00

修理に伺うまで、漏電保護プラグは必ず抜いておいてください。

注意 必ず守る 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める。

■修理を依頼する前に次のことを確認してください。

全機能

現　象	原　因	処　置
全く動かない	停電したりブレーカーが切れていませんか。	停電が復帰するまで待ってください。またブレーカーを「入」にしてください。
	漏電保護プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入(リセット)」ボタンを押してください。 ☞36ページ
	操作部の「運転」ランプが消灯していませんか。	補助操作部の「運転入/切」スイッチを押してください。☞22ページ
	本体が便器からはずれていませんか。	本体を便器にセットし直してください。 ☞35ページ

おしり・ビデ洗浄

現　象	原　因	処　置
洗浄水が冷たい	温水ヒータが「切」、又は温水温度の設定が低くなっていませんか。	温水温度の設定を「入」又は「高」にしてください。 ☞26ページ
洗浄水が出ない	断水していませんか。	(止) を押し、断水が解除するまで待ってください。
	止水栓が閉まっていませんか。	止水栓を開いてください。 ☞22ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞41ページ
洗浄水勢が弱い	給水フィルターが詰まっていませんか。	給水フィルターを掃除してください。 ☞36ページ
洗浄水が途中で止まった	(おしり)又は(ビデ)を押してから、約5分後に自動的に止まります。	もう一度(おしり)又は(ビデ)を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞41ページ

温風乾燥（K3のみ）

現　象	原　因	処　置
温風温度が低い	乾燥温度の設定が低くなっていませんか。	乾燥温度の設定を「高」にしてください。 ☞27ページ
温風乾燥が途中で止まった	(乾燥) を押してから約10分後に自動的に止まります。	もう一度(乾燥)を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞41ページ
温風乾燥が全く動かない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞41ページ

暖房便座

現　象	原　因	処　置
便座があたたかくならない	便座ヒータが「切」、又は便座温度の設定が低くなっていませんか。	便座温度の設定を「入」又は「高」にしてください。 ☞26ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座ってから約15分お待ちください。 ☞30ページ
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ってから約5分お待ちください。 ☞31ページ

ソフト閉止

現　象	原　因	処　置
便座・便ふたカバーをつけると閉まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	——
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって速さが変わります。故障ではありません。	——

着座センサー

現　象	原　因	処　置
便座に座っていないのにスイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていませんか。	着座センサーをおおわないようにしてください。 ☞9,24ページ
	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのにおしり洗浄や脱臭などが作動しない	座り方,服の色,布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	座り方をかえたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていませんか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服又はゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。

脱　臭（K2・K3のみ）

現　象	原　因	処　置
離座すると脱臭の音が大きくなる	はじめは、「オートパワー脱臭入/切」スイッチが「入」になっています。オートパワー脱臭は離座後、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。	——
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞上記
脱臭が途中で止まった	2時間以上座っていると、自動的に脱臭が止まります。	座り直すと、はたらきます。
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていませんか。	脱臭フィルターを掃除してください。 ☞35ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。●掃除時 ●便器洗浄レバーを操作したときなど	——

節電機能

現　象	原　因	処　置
おまかせ節電のスイッチを入れても節電しない	トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。	——
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	——
便座がときどきあたたまらない	タイマー節電中は、温水·便座のヒータを切っています。おまかせ節電中は、便座は低い温度になっています。いずれも便座に座るとあたたかくなります。	タイマー節電やおまかせ節電が設定されていないか、確認してください。 ☞30,31ページ
正しい時間に節電しない	電源を抜いたり、停電していませんか。（設定時間がずれることがあります。）	●タイマー節電は「入」にしてください。（電源が一度切れると「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。）●おまかせ節電は翌日から通常通りはたらくようになります。 ☞30,31ページ

その他

現　象	原　因	処　置
本体がガタつく	本体を固定しているベースプレートのボルトが緩んでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかり締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続部のナットがゆるんでいませんか。	モンキーレンチで増し締めしてください。

アフターサービス

アフターサービスについてはよくお読みのうえ、ご相談，修理，依頼など、お気軽にお申しつけください。

●保証書

- 必ず「販売店名，お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1ヵ年です。

●補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
  なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●部品交換について

- 無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店又はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターに修理を依頼してください。
  保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理に際しては必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

■ご住所、ご氏名、電話番号
■製品名
品番（TCF・・・）…………………………※便ふたの裏をご覧ください。
お取付日…………………………………※裏表紙の保証書をご覧ください。
■訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取扱い】
お客様からお預かりした個人情報は関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。詳しくはTOTOホームページ http://www.toto.co.jp/ をご覧ください。

●保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めの販売店又はTOTOメンテナンス(株) 修理受付センターにまずご相談ください。
  修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

●お引っ越しされるとき

- お引っ越しの際の取りはずしと取り付けは､お近くの販売店又はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

定期点検のおすすめ（有料）

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。（水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。）
- 機能部品は、お取付日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
  なお、点検はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼ください。

<お問い合わせ先>
TOTOメンテナンス(株)修理受付センター
TEL 0120－1010－05
FAX 0120－1010－02

受　　付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区　8：00～20：00
　　　　　上記以外の地区　　9：00～20：00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：　　　　　　　　　9：00～18：00

●定期点検を行った日付を記入しておきましょう！

	日 付
お取付日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

仕様・交換部品／別売品

仕様

項目			内容
定格電源			交流100V　50/60Hz
定格消費電力			413W（K2・K3），408W（K1）
区分※1			貯湯式
年間消費電力量※2			217kWh/年（294kWh/年）
電源コード長さ（同アース線長さ）			1.0m（漏電保護プラグ付）
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄	約0.35～0.90L/min（水圧0.2MPaのとき）
		ビデ洗浄	約0.45～1.00L/min（水圧0.2MPaのとき）
	吐水温度		温度調節範囲　切，約30～40℃（5段階切り替え）
	ヒータ容量		350W
	タンク容量		1.14L
	安全装置		温度ヒューズ，温度過昇防止器，空焚き防止フロートスイッチ
	逆流防止装置		バキュームブレーカー，逆止弁
温風乾燥装置（K3のみ）	温風温度※3		約40℃～60℃（5段階切り替え）
	風量		0.3m³／min
	ヒータ容量		350W
	安全装置		温度ヒューズ
暖房便座	表面温度		温度調節範囲　切，約30～40℃（5段階切り替え）
	ヒータ容量		50W
	安全装置		温度ヒューズ
脱臭機能（K2･K3のみ）	方式		O_2脱臭
	風量		標準モード：0.09m³／min，パワーモード：0.16m³／min以上
給水圧力			最低必要水圧：0.05MPa（流動時） 最高水圧：0.75MPa
給水温度			0～35℃
周囲使用温度			0～40℃
製品寸法	エロンゲート		幅511㎜，奥行527㎜，高さ180㎜
製品質量			5.2kg（K3），5.0kg（K2），4.8kg（K1）

※1　省エネ法（2012年度基準）の区分
※2　省エネ法（2012年度基準）に基づいた測定値
　　（　）内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量
※3　温風吹出口付近における当社測定点の温度
※この製品は、日本国内専用品です。

抗菌

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、操作部（表面シート）
抗菌剤の種類	無機系(銀)
抗菌性能持続性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
安全性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
禁止事項	酸性，アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

※ 抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

交換部品／別売品

品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●脱臭フィルター(品番：D45339)

●給水フィルター付水抜栓(品番：D43284Z)

●ウォシュレットクリーナーきらりあ

汚れをスッキリ落とす除菌剤配合の便座専用洗剤です。

■ウォシュレットをお取り付けの工事店、販売店、TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターでご購入できます。
【商品品番】ENL500　希望小売価格：¥1,000（税込 ¥1,050）
容量：185ml

●便座・便ふたカバー

◎便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、TOTO専用カバーをお求めください。
お求めの際は、TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
※市販のカバーでは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤動作の原因になることがあります。

■商品のお問い合わせはTOTO(株) お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

■交換部品/別売品のご購入はTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）